



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月13日

東

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所  
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 上窪 彩子 (TEL) 052-218-8785  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	50	△55.6	△168	—	△179	—	△180	—
24年12月期第3四半期	112	462.5	△191	—	△189	—	△189	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年12月期第3四半期	△8.72		—					
24年12月期第3四半期	△10.79		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,330	99.3	2,313	99.3		
24年12月期	467	96.4	452	96.4		

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 2,313百万円 24年12月期 450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—		
25年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80	△28.9	△201	—	△202	—	△203	—	△10.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年12月期3Q	22,695,900株	24年12月期	18,141,400株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	—株	24年12月期	—株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年12月期3Q	20,660,926株	24年12月期3Q	17,599,848株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、政府による経済対策・金融政策を背景に円安株高の動きが進むなか、個人の消費マインドも改善し、足許の景気動向は上向きつつある環境にあります。また、海外経済につきましては、欧米の景気は緩やかな回復基調にあるものの、欧州債務問題の長期化や新興諸国の成長鈍化懸念により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

国内医薬品業界におきましては、高齢化の進行に伴う生活習慣病の増加等により、医薬品需要は増加傾向にあるものの、国の医療費抑制政策を反映し、後発医薬品の利用促進、医療制度の見直しが進むなど、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により、抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が実施されました。また、緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅲ相臨床試験が終了し、詳細な解析が行われました。なお、緑内障治療剤「K-115（一般名：リパズジル塩酸塩水和物）」につきましては、緑内障・高眼圧症を適応症として、10月10日に国内での製造販売承認申請が行われております。

新規緑内障治療剤「H-1129」につきましては、日本を対象とする独占的開発権・販売権を、わかもと製薬株式会社にライセンスアウトし、同社において非臨床試験の開始に向けた準備が進められております。

また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

売上高につきましては、「H-1129」のライセンスアウト契約を締結したことにより、フロントマネー収入50百万円（前年同期比55.6%減）を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が89百万円（前年同期比30.7%減）、その他販売費及び一般管理費が128百万円（前年同期比5.8%増）であったことにより、販売費及び一般管理費は218百万円（前年同期比13.0%減）となりました。その結果、営業損失は168百万円（前年同期営業損失191百万円）、経常損失は179百万円（前年同期経常損失189百万円）、四半期純損失は180百万円（前年同期四半期純損失189百万円）となりました。

なお、当第3四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

## ① 新薬候補化合物開発状況

## (イ) ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬(対象疾患)	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 (閉塞性動脈硬化症)	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115	緑内障治療剤 (緑内障)	国内第Ⅲ相臨床試験終了(注)	興和株式会社
H-1129	新規緑内障治療剤 (緑内障)	非臨床試験準備中	わかもと製薬株式会社

(注) 本資料開示日現在において、緑内障・高眼圧症を適応症として国内製造販売承認申請が行われております。

## (ロ) 新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物(緑内障治療剤)	リード化合物の選定完了
	眼科関連 神経系 循環器系 呼吸器系等	基礎研究

## ② 当期の業績の概況

## (イ) 売上高、売上原価

売上高は「H-1129」ライセンスアウトにより、フロントマネー収入50百万円(前年同期比55.6%減)を計上しました。

## (ロ) 販売費及び一般管理費、営業損失

## a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、89百万円(前年同期比30.7%減)となりました。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定し、ライセンスアウト契約を締結いたしました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を実施しました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「H-1129」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

## b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は、新株予約権の権利行使による増資があり、法人事業税が増加したことや、人件費及び旅費等の増加により、128百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

これらにより、営業損失は168百万円(前年同期営業損失191百万円)となりました。

## (ハ) 経常損失、四半期純損失

営業外収益に試薬品収入1百万円を計上、営業外費用に株式交付費6百万円、新株予約権発行費7百万円を計上したこと等の結果、経常損失は179百万円(前年同期経常損失189百万円)、四半期純損失は180百万円(前年同期四半期純損失189百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から1,863百万円増加し、2,330百万円となりました。主な要因は、前事業年度末に比べ現金及び預金が1,759百万円増加したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第3四半期会計期間末99.4%、前事業年度末96.9%です。

負債は、前事業年度末から2百万円増加し、17百万円となりました。

純資産は、前事業年度末から1,861百万円増加し、2,313百万円となりました。主な要因は、新株予約権の権利行使等により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,021百万円増加したことによるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第3四半期会計期間末99.3%、前事業年度末96.7%です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績につきましては、平成25年3月29日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	423,778	2,183,498
有価証券	20,045	121,325
その他	9,263	11,384
流動資産合計	453,086	2,316,209
固定資産		
有形固定資産	5,477	5,630
無形固定資産	215	328
投資その他の資産	8,837	8,671
固定資産合計	14,530	14,631
資産合計	467,616	2,330,840
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	6,110	6,637
未払法人税等	3,750	5,234
その他	5,369	5,464
流動負債合計	15,230	17,337
負債合計	15,230	17,337
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,326,629	2,347,997
資本剰余金	1,316,629	2,337,997
利益剰余金	△2,192,332	△2,372,491
株主資本合計	450,925	2,313,503
新株予約権	1,460	—
純資産合計	452,386	2,313,503
負債純資産合計	467,616	2,330,840

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	112,500	50,000
売上原価	53,750	—
売上総利益	58,750	50,000
販売費及び一般管理費		
研究開発費	129,036	89,467
その他	121,686	128,699
販売費及び一般管理費合計	250,722	218,167
営業損失(△)	△191,972	△168,167
営業外収益		
試薬品収入	276	1,612
有償サンプル代収入	2,500	—
その他	398	841
営業外収益合計	3,174	2,453
営業外費用		
株式交付費	266	6,597
新株予約権発行費	—	7,129
固定資産除却損	173	—
その他	0	—
営業外費用合計	441	13,727
経常損失(△)	△189,239	△179,441
税引前四半期純損失(△)	△189,239	△179,441
法人税、住民税及び事業税	717	717
法人税等合計	717	717
四半期純損失(△)	△189,956	△180,158



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社による第6回新株予約権の権利行使及び野村證券株式会社による第7回新株予約権の権利行使による増資があり、資本金及び資本準備金がそれぞれ978,535千円増加しております。

また、上記のほか、ストック・オプションの行使による増資もあり、当第3四半期会計期間末において資本金が2,347,997千円、資本準備金が2,337,997千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。